

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市保健対策推進協議会		
開催日時	平成26年12月19日(金曜日)午後1時30分から午後2時30分まで		
開催場所	みよし市保健センター 2階医師会室		
出席者	<p>委員： 桜井会長、田代委員、石川委員、中山委員、岡本委員、小野田委員、坂口委員、鶴飼委員（代理 茶谷）</p> <p>事務局： 加藤健康福祉部長、柴本健康福祉部次長、健康推進課 加納課長、江坂主幹、山田保健師長、石田主任主査、植山副主任、関根副主任、鈴木主査、中川副主任 保険年金課 塚田課長、近藤主任主査</p> <p>委託業者： 株式会社サーベイリサーチセンター山村</p>		
次回開催予定日	未定		
問合せ先	<p>健康福祉部健康推進課 担当 山田、石田 電話番号 0561-34-5311 ファックス番号 0561-34-5969 メールアドレス <a href="mailto:kenko@city.aichi-miyoshi.lg.jp">kenko@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a></p>		
下欄に掲載するもの	議事録全文	要約した理由	
審議経過	<p>1. 会長あいさつ 本日は、お忙しいところ寒いところをみよし市のためにお集まりいただき、ありがとうございます。今年度3回目と云うことですが、今回もよろしくご審議をお願いします。</p> <p>2. 協議事項 (1)議事「健康みよし21（第2次計画）案及びみよし市新型インフルエンザ等対策行動計画案について（パブリックコメント結果報告を含む）」 《事務局説明》 質問なし</p> <p>(2)議事「特定健康診査及び各種がん検診の受診率向上への取組みについて」 《事務局説明》 【会長】</p>		

みよし市の受診率は県全体では低いようですが、考えられる理由はありますか。

**【事務局】**

受診率の高い地域を確認すると、集団健診を行っているところがあります。みよし市は医療機関が整っているので、個別健診でお願いしています。集団健診は来やすい人もいれば、日にちが決まっているので来ることができない人もいます。一つの特徴としては、そのような地域もありますが、一番の問題は底上げになります。健康みよし21はまだ市民に浸透していない。もう少し市民に健康意識が高まれば健診を受けていただけたらと思います。

**【会長】**

「健康意識の高まり」、特に40歳から50歳代までの意識ですね。

**【小野田委員】**

特定健診の該当の人には個別通知をしていますか。

**【事務局】**

特定健診の該当の人には、5月中旬に、受診券と問診票を一緒に送付しています。

**【小野田委員】**

特定健診の若い人の受診率が悪い中で、目標受診率を見ると平成29年には60%とあるが、この目標設定の狙いは何ですか。

**【事務局】**

平成29年の60%は、国の指針があり、前回は65%と、24年までの第1期特定健診の実施計画では、国の指針が65%と示されました。ただ、その結果、状況等全国市町村の経過を含め、実際そこまで到達していないことから、第1期の65%から60%に引き下げて、第2期の実施計画では60%と示されています。ちなみに、特定健診は国保だけではなく健康保険すべてになりますので、被用者保険は65%になっています。実施率が高いです。会社になると時間を決めて行きなさいとかあり、比較的高いですが、24年にその指針がでて、25年から29年については、このようなパーセント、目標に従って、実施しています。

**【小野田委員】**

75歳以上は該当しないですか。

**【事務局】**

75歳以上は後期高齢者健診となり、別の通知を送付しています。

**【小野田委員】**

特定健診の受診率を上げるには、啓発活動だけでなく、そういう要素にプラスして、健診内容の質の向上も大きな要素となると思いますが、いかがですか。

**【事務局】**

特定健康診査項目は、国で決められている項目となり、メ

メタボリックシンドロームに着目した検査項目で、特定保健指導を必要とする対象を選び出すための健診になります。メタボリックシンドロームに特化した健康診査となり、動機づけ支援や積極的支援の判定になった人は、生活習慣病を予防するための特定保健指導まで受けないと意味がないものになります。本来、国の基準だけになると、詳細項目として昨年健康診査データに基づき、必要な人に限り、心電図、眼底の検査や貧血の既往や貧血を疑われる人に貧血検査を実施することになりますが、市独自基準として、心電図、貧血の検査は受診者全員、眼底の検査は、昨年と今回の健康診査データを含めて、医師が必要と判断した場合に実施することとなっています。

**【小野田委員】**

新聞報道によれば、特定健康診査にプラスして市独自の項目があるとの記事を見た記憶があるが、みよし市が市独自基準を行っておれば、そのことをPRして市民の健康診査受診への気を起こさなければならない。広報の活用や保健師を中心とした健康診査結果のアフターサービスも実施しているので、そのことをもっとPRをしてください。

**【会長】**

未受診者に通知をしていますが、成果はありますか。

**【事務局】**

12月に健康診査期間が終了しますので、その後に評価していきたいと思います。

**【会長】**

けんこう応援教室の実施状況ですが、先程、途中で止めた人は含めないと説明がありましたが、括弧で人数がわかるようにした方がよい。

**【事務局】**

この表は、国への法定報告の数値であり、すべての教室に参加した人数となります。途中で止めた人を含めた実際の参加者は、もう少し多い数値となります。

**【会長】**

医療機関に望むことはありますか。

**【事務局】**

市民は、医師より言われることが、ある意味絶対的などころがあります。特定保健指導の対象者には、健康診査終了後2か月以内に、保健センターで実施している特定保健指導教室の案内を通知していますが、医師からもその教室への参加を促してもらえるとありがたいと思います。

医療機関には、健康診査以外に診療などいろいろありますが、特定健康診査はお済ですかなど、医療機関からも声掛けしてもらえると少しかわってくるのかと思います。現場としてはたいへんかと思いますがよろしくお願いします。

**【会長】**

病院に縁のない人もいます。

**【石川委員】**

病院は何か疾患があるから来ていると思います。その方は関心があると思います。若い方は健康であり危機感がないと思います。その人たちに健康診査を受けてもらうことは、忙しい年代でもあり難しいと思います。

**【石川委員】**

昔は地域にバスが来て集団健診をしていたと思います。

**【事務局】**

以前は、結核の関係で住民健診がありましたが、今はありません。

**【坂口委員】**

今年70歳になりましたが、40歳代、50歳代は自覚症状がないため、健康診査に関心が薄いと思います。やはり60歳を過ぎて、だんだんと自分の体力の限界が来ますし、いろいろな支障も出てくるものですから、健康診査を受ける意識にかわってくると思います。健康診査を受けて、医療機関から要精密検査の項目があると、仲間で病気が発見されるから行きたくないという話を聞きます。そういうところを医療機関と行政で密に連絡を取りながら、済んでいない方は、ピンポイントで必要性を訴える、ということはいかがでしょうか。

**【会長】**

この問題は、みよし市だけでなく国から共通の対策が出てこない、難しいと思います。

**【会長】**

議題1について、承認でよろしいですか。

→全員挙手

事務局から連絡事項はありますか。

**【事務局】**

健康みよし21（第2次計画）ですが、今後、印刷製本し、委員の皆様配布します。

**3. 健康福祉部長あいさつ**

今回の会議にて、健康みよし21（第2次計画）及び新型インフルエンザ等対策行動計画策定に向けての説明は終了となります。健康みよし21（第2次計画）については、印刷製本したものを委員の皆様にお届けします。大変長い間ですがありがとうございました。今後も市民の方の健康づくりで大変世話になります。よろしくお願ひします。本日はどうもありがとうございました。